研究課題開発名

持続可能な国際社会の創造に貢献する科学技術人材育成に関する研究

文部科学省

北海道教育委員会

ＪＳＴ

運営指導委員会

各種連携機関

北海道大学，旭川医科大学，北見工業大学，北海道教育大学，日本赤十字北海道看護大学，東京農業大学，山形大学，宮崎大学，慶應義塾大学，北見市教育委員会，他民間企業など

北海道北見北斗高等学校

アウトリーチ
- 広報
- 共有
- 研究の普及

【サブプラン①】研究力の育成

- 将来の研究ビジョンを実現する研究力を育成
- 基本的な研究方法・技法の確実な習得
- 全教科の連携による地域性を活かした課題研究
  - ・高等教育機関等との連携，双方向通信の効果的活用
  - ・第1学年普通科240名（全員）：研究課題「オホーツク圏の環境」で成果を地域に還元
  - ・第２・３学年各120名程度（理型コース）：専門性を高めた課題研究，将来への接続，英語発表・情報発信

ー HOKUTOグローカルサイエンスプラン ー

【サブプラン②】グローカル＆イングリッシュ

- オホーツク圏の学習教材を用いて国際性を育成
- 国際社会で活躍する人材に求められる英語活用力の育成
  - ・常呂川調査，海洋調査，氷海環境，海洋生態系，火山，産業，防災など，地域の学習教材化に向けた研究開発
  - ・英語による研究発表，海外高校・大学との連携，異文化コミュニケーション

【サブプラン③】最先端科学技術へのアクセス

- 世界の最先端技術に触れ，科学技術人材を育成
- 科学的な視野の拡大，科学的素養と主体性の育成
- 高い挑戦意欲をもった科学技術人材を育成
  - ・オホーツク圏の３大学との連携
  - ・先進的な体験を伴う実験，最先端を知る講演会・セミナー
  - ・科学系人材育成プログラムへの積極的な参加
  - ・オホーツク圏の高等学校・小中学校との連携による理数系教育の質の向上

網走方面から望む流氷と斜里岳